



膠原病は難病？

藤が丘病院 内科(リウマチ・膠原病)
診療責任者 井上 嘉彦

内科(リウマチ・膠原病)診療責任者を拝命いたしました井上嘉彦です。当科は内科再編に伴い、2020年度より新たに内科の一分野として設置されました。私は1993年に昭和大学を卒業後、留学を除いて大半を藤が丘病院に勤務し、多くの腎臓、膠原病疾患を診て参りました。藤が丘病院には今までリウマチ・膠原病科の標榜がなく手薄さを感じ、何でも診ようという精神でリウマチ専門医・指導医も取得し、10年以上前より膠原病外来を行い携わってきました。



リウマチ・膠原病を設置してからは地域からのご紹介も多くなり、患者さんからも「藤が丘病院にリウマチ・膠原病ができたから遠くに行かなくてよくなった」などと喜ばれ、地域でのニーズはあるのだと感じています。

患者さんに膠原病のご説明をすると当然のごとく聞いたことのない病名ばかりで、一気に気持ちが沈んでいくのがわかります。膠原病は難病か？その答えは曖昧で申し訳ないのですが、難病でもあり難病でもないということになると思います。その理由はそれぞれの疾患には活動性があり、その活動性をうまくコントロールができるかによります。活動性をうまくコントロールするには治療薬となる武器が必要になります。喜ばしいことにその武器になる治療薬がリウマチ・膠原病疾患では、近年の生物学的製剤をはじめとする分子標的薬と呼ばれる新たな治療薬の登場に伴い、治療は飛躍的に進歩しています。



関節リウマチでは TNF α 阻害薬、IL-6 阻害薬、JAK 阻害薬などが揃っています。また、他の疾患でも例えば全身性エリテマトーデスでは、B細胞刺激因子阻害薬、抗I型インターフェロン受容体拮抗薬、ANCA 関連血管炎では選択的 C5a 受容体拮抗薬の登場などステロイドがいなくなる時代になる希望があります。今まで難病と片付けられていた病態が難

病ではなくなってきました。

リウマチ・膠原病疾患におきましても、早期発見、早期治療が大切です。例えば巨細胞性動脈炎は頭痛、視力障害が出現します。早期に治療をしないと失明の危険性がありますので、ちょっと普段とは違うなと感じるのであれば、受診をお勧めします。

当科では随時、紹介・初診患者さんをお受けし、診療しております。また、近隣医療機関からの入院依頼についても積極的に受け入れております。

入院診療体制は5~6人の医師でグループを構成して診療し、毎週入院患者についてのカンファレンス・回診を行っております。また、昭和大学横浜市北部病院リウマチ・膠原病内科との合同カンファレンスも毎週行っております。科学的根拠(エビデンス)に基づいて、個々の患者さんの症状、合併症、社会的背景に応じて治療方針を決定し、真心をもって、日々診療にあたっております。

第44回藤が丘地域連携フォーラムを開催して

10月13日(木)、第44回藤が丘地域連携フォーラムを開催いたしました。本フォーラムは、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、オンラインでの講演として行いました。

今回の藤が丘地域連携フォーラムにはご多忙の中、49施設52名の医療機関の先生方等院外関係者の皆様、医師等院内関係者38名の総勢90名の方にご参加いただきました。皆様方には、心より御礼申し上げます。

次回は、令和5年1月12日(木)に開催を予定しております。皆様方のご参加を心よりお待ちしております。

＝第44回藤が丘地域連携フォーラム講演会＝

1. 遺伝子コントロール体制について

藤が丘病院 救命救急科 林 宗貴

2. 心房細動の初期対応からアブレーション治療まで

藤が丘病院 循環器内科 小貴 龍也

(藤が丘病院 医事外来課 高橋 美保)

大規模災害時医療活動訓練に参加しました

10月1日(土)、内閣府が主催する令和4年度大規模地震時医療活動訓練が開催されました。この訓練は、全国の400を超えるDMAT隊が静岡県、愛知県、和歌山県、三重県に集結して、災害時の活動訓練を行う非常に大規模な取り組みでした。

藤が丘病院からはDMAT隊員4名が参加し、被災した静岡医療センターに支援に入り、トリアージポストでの患者診療と患者搬送の調整依頼などの活動を行いました。現場への移動中も実際の災害を想定して、通行止めとなっている道路を迂回するなどの対策をしながら活動をしました。もし、災害が起きてしまったら、藤が丘病院は地域の特性としてどんな備えが必要だろうか考える良い機会にもなりました。

皆さんは、自分自身の住んでいる街の避難場所をご存じでしょうか?どんな災害が起こりやすい場所なのか、ハザードマップで誰でも確認することができます。これを機に、確認してみたいかがでしょうか。

(藤が丘病院 5階東病棟 佐藤 隼)



初参加のDMAT訓練は悔しさの残るものでした

10月16日(日)、葉山町合同総合防災訓練(通称:ビッグレスキューかながわ)に参加してきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた上で、3年ぶりに実施されました。県内のDMATチーム30隊(30病院)や米軍医療チーム等約200名の医療従事者が参加し、ドクターヘリも出動するかなり大きな訓練となりました。この訓練は県内各地で現場での多数



負傷者事案対応訓練、病院での多数受け入れ訓練等を行うもので、当院は

DMATとして藤沢にある湘南鎌倉総合病院での病院支援を行いました。

今回が私の初めての訓練でしたが、私は業務調整員(通称:ロジスティック)として、参集した各DMAT隊員の指揮をする病院指揮所の一員として活動しました。慣れない医療用語ばかりが飛び交う中、話についていくことができず、全てを追いかけるだけで精一杯で、とても不甲斐無さと悔しさを感じました。ただ、周りの方々の助けで実りのある訓練となり、次回以降の意欲がかなり増しました。

今回、経験がないにも関わらず一緒に活動して下さった各病院DMAT隊員の方々、そしてこんな私と当院を代表して参加して下さった4名の先生、看護師の方には感謝の気持ちでいっぱいです。少しでも早くこの方々に追いつき、必要とされる一員となるため今後も精進していく所存です。

注釈 DMATとは災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team)の略。

医師、看護師などの医療に従事している多職種で構成され、大規模災害や多数に傷病者が発生した事故などの現場にておおむね48時間以内に活動できる機動性を持った専門的な訓練を受けた医療チームのこと。

(藤が丘病院 管理課 廣井 高志)

2022年度第1回 藤が丘病院・リハビリテーション病院研究発表会を開催しました

藤が丘病院・リハビリテーション病院の医学研究の活性化に寄与することを目的とし、日頃の研究成果を研究者間で発表し合う場として、医師・看護師・コメディカル等様々な職種の職員が参加する研究発表会を毎年開催しています。

通算第5回目となる今回の研究発表会は、10月17日(月)の18:00~20:00に藤が丘病院B棟6階講堂とZoomを併用したハイブリッド形式で開催しました。Zoomの利便性もあって、合計58人が参加されました。当日は10題の発表が行われ、質疑応答では専門外の発表に鋭い問いを投げかける場面もあり、有意義な発表会となり、予定していた2時間はあっという間に経過しました。

両病院の医学研究の活性化を図るため、今後も定期的に研究会を開催していきます。皆様のご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

(藤が丘病院 クリニック課 山本 玲美)

青葉区民マラソン大会に医療スタッフとして参加して

11月27日(日)、第9回青葉区民マラソン大会に藤が丘病院から医師1名、看護師2名が医療スタッフとして参加しました。本大会はCOVID-19感染拡大の影響で3年ぶりの開催となりましたが、秋晴れのマラソン日和となり地域の皆さんの声援も多くみられました。

私たちは競技開始前に物品の確認を行い、区の職員やドクターランナー、救急隊の方と共に患者の状態に合わせた搬送・対応方法の確認を行いました。レース直後に体調不良を訴える方や転倒した方が数名受診されました。バイタルサインの測定や傷の処置を行いましたが、大きな事故や怪我は無く職務を終えることができました。

病院内とは異なり医療器材が揃わない現場で患者の状態にあわせた医療処置を考える良い経験となりました。



(藤が丘病院 救命センター 熊谷 有紗)

地域合同防災訓練を実施しました

10月23日(日)、昭和大学藤が丘病院・リハビリテーション病院地域合同防災訓練を実施しました。本訓練は、災害発生時に適切な行動ができるよう実践的な訓練を行うことにより、防災意識を向上させることを目的としています。

今回は感染拡大防止の観点から規模を縮小して本部機能を中心とした机上訓練とし、BCP(事業継続計画)の点検および新型コロナウイルス感染症の影響



下における災害対応を主眼としました。「本部立ち上げ」や「手術室の災害対応」等のテーマごと

にBCPに基づいてロールプレイを行い、実施内容について討議する形式で実施いたしました。ロールプレイ後すぐに討議を行うことで具体的な疑問点や改善策が続々と挙げられ、活発な議論となりました。

また訓練には青葉区各師会(医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会、訪問看護連絡会、看護職連絡会)、日本体育大学、アマチュア無線非常通信協力会の皆様にもご参加いただき、有事の際に各組織がどのように連携すべきか、率直な意見交換を行いました。今回の訓練において議論されたポイントに基づいてBCPをブラッシュアップし、より盤石な防災体制を構築いたします。今後も「災害拠点病院」としての使命を果たすため、平時からの防災機能強化と地域連携の強化を図ってまいります。

(藤が丘病院 管理課 平山 実佳)

市民公開講座を開催します

昭和大学藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院では令和4年度第2回市民公開講座を開催いたします。新型コロナウイルス感染症の第8波が年内にもピークを迎えると言われ、国内での新変異株の感染確認等予断も許されない状況のため、今回もやむなくWeb開催といたします。ご不便をおかけしますが、前回同様多くの方にご視聴いただければ幸いです。

公開期間：令和4年12月22日(木)～令和5年1月19日(木)

場 所：Web開催(YouTube)

視聴方法：①昭和大学藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院 ホームページより

②昭和大学YouTubeチャンネル内より

テ ー マ：①ロボット手術

藤が丘病院 泌尿器科

下山 英明 助教

②自宅でもできるリハビリテーション

藤が丘リハビリテーション病院

リハビリテーション科

橋本 圭司 准教授

主 催：昭和大学、昭和大学藤が丘病院、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

後 援：公益財団法人横浜市病院協会

(藤が丘病院 管理課 廣井 高志)

